

オンライン認知行動療法の研究に参加してくれる
お子さんを募集しています！ (保護者陪席可)

気持ちが落ち込んだ時
心配事があって不安な時
カッとなった時



過去の嫌な出来事を思い出すことはありませんか？

「イメージの書き直し」

で、気持ちが楽になるかもしれません。

トラウマのような情動記憶に働きかける認知行動療法の技法として「イメージの書き直し」が知られています。これまでにPTSD、うつ病、社交不安症などに有効性が示されています。千葉大学病院では、情緒と行動の問題に悩んでいる、思春期の子どもたちに対し、「イメージの書き直し」のみを、オンラインで毎週1回連続6回で提供する、臨床試験を行なっています。(※過去のつらい記憶を思い出す必要があるため、一時的ではありますが、不調を呈する可能性があります。)

【対象者】

- ◆ 情動面または行動面の症状が出現して、苦痛あるいは障害のエピソードがある方
- ◆ 12歳(中学生)～18歳のお子さん本人が希望し、保護者の同意がいただける方(保護者にもアンケートに答える形で研究に参加していただきます)
- ◆ かかりつけ医(小児科、内科を含む)からの紹介状をもらえる方
- ◆ ご自宅にWi-fi環境のある方
- ◆ 研究デザイン上、認知行動療法に入るまで、約7週間ほどお待ちいただくことがあることに、ご了解いただける方
- ◆ その他、試験の基準を満たす方(※基準を満たさない方は参加できない場合があります)

【募集期間】 2024年4月1日～2025年9月30日

【募集人数】 26名

【参加費】 無料



お問合せ・お申込はメールもしくは
被験者募集サイト Webフォームから
<https://www.cocoro.chiba-u.jp/recruit/>

研究代表者：千葉大学医学部附属病院
認知行動療法センター長・教授
清水 栄司

研究担当者：千葉大学こどもの心の発達教育研究
センター特任研究員
松友 三枝
mie-matsutomo@chiba-u.jp



2版：2024年2月13日作成